



YCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信

第4号 令和7年3月7日発行

2月14日に第3回学校運営協議会が行われました。各学部の今年度の取組を報告し、第2回学校運営協議会の熟議を受けて、今後に向けての具体策を委員の皆様と協議していただきました。今回は学校運営協議会の様子と委員の皆様からの年度末アンケートについてお知らせします。

第3回学校運営協議会

今年度の各学部の取組



小学部：鶴舞小学校4年生と2回交流、居住地校交流は34名が地域の小学校の学習に参加、ブラウブリッツ秋田のサッカー教室、ボランティアによる読み聞かせ会、音楽教室、英語教室、体操教室等を実施しました。様々な交流が児童の成長につながりました。

中学部：1、2年生は中学校と学校間交流、2年生は浜ノ町町内会の皆さんと花壇作りで交流、中学部全体でTDK野球部やブラウブリッツ秋田とスポーツ交流しました。初の取組として3年生がユニクロさんと親子ファッション講座、2年生はにかほ市のピザ屋さんからピザの作り方を教えていただきました。久しぶりに学校外での販売会も実施しました。今後も地域とのつながりを大切にしていきたいです。

高等部：作業学習家庭班ワークショップで看護学校生や地域の皆さんと交流、ふるさと納税返礼品として食品加工班の「いちじく南蛮味噌」と木工班の「ままごとキッチン」を登録、地域で作業学習製品の販売会も行いました。今後も地域で活動することで障害理解や卒業後の社会参加につながるようにしていきたいです。

寄宿舎：ブラウブリッツ秋田、由利高校書道部と交流、余暇活動で地域の道の駅や医師会病院の売店、カラオケなど地域の施設へも出かけました。今後も交流を継続していきたいです。

協議「ゆり支援の子どもたちの充実した生涯学習のために私たちができること」

3グループに分かれての協議では、具体策をたくさん出していただき、ありがとうございました。

- ・コーディネーターやボランティアサークルなど地域の財源とつながっていく。
- ・学校や民間の店舗や空き店舗を活動場所として活用する。
- ・移動課題を解決するために福祉バスを利用する。
- ・地域でのイベントの案内を学校で受け取り、在校生へ伝える。お互いを知ろうとすること知り合うことが大事。
- ・卒業後の過ごし方のニーズは様々なので、相談する場が必要。
- ・同窓生、在校生、地域の人など幅広く参加できるように、会場を学校や地域の施設にして、幅広いプログラムをつくって活動していく。
- ・ナイスアリーナで児童生徒が経験したことのあるボッチャやフライングディスクをやってみる。地域に声を掛けて自由に参加してもよい形をとれば交流も生まれる。地域学校展も一緒に開催すると交流のきっかけになる。
- ・市の観光協会イベント情報をもらい、地域の行事に実際に参加してみる。
- ・学校だけで完結せず、学校外の人とつながる中で変わっていくとよい。



学校運営協議会委員の年度末アンケートより

(1) 学校運営協議会の回数について

○ちょうど良い (12) ○増やした方が良い (0) ○減らした方が良い (0)

(2) 学校運営協議会の活動内容等について

○授業参観など普段の活動の様子を見学できる時間があり良かった。
○初めて参加させて頂き、様々な活動を行っていることを知ることが出来た。当会として、協力出来ることを探していきたい。
○委員構成について、肩書きにこだわらず、広げてみてはどうか。

(3) 熟議について (今年度は9月の1回)

○ちょうど良い (9) ○増やした方が良い (3) *年2回程度 ○減らした方が良い (0)

(4) 熟議についての感想や意見

テーマ「ゆり支援の子どもたちの充実した生涯学習のためにわたしたちができることは」

【熟議のテーマ】

○良い議題で、私自身よく考えさせられた。周囲の貴重な意見も聞くことができた。

【熟議の回数】

○9月の熟議には参加できなかったが、2月の第3回学校運営協議会で協議の場を設けてもらい、話し合う事が出来て良かった。
○今年度の第3回学校運営協議会では、第2回の熟議を受け、運営協議会委員のみで短時間ではあったが、熟議を行えたのは良かった。初めての参加者もいたが、前回の内容をコンパクトによくまとめた資料があり、熟議に参加しやすかったのではないかな。今後の生涯学習について、具体的な進め方が見えてきた。



第1回学校運営協議会
「高等部授業参観」



第2回学校運営協議会
「熟議」



第3回学校運営協議会
「全体会」

(5) その他 (自由記述～委員として学校に関わって良かったことなど)

○今後も、様々な経験をもった人々と交流し良い提案が出来れば良い。
○ゆり支援学校の取組みを知り、ゆり支援学校の卒業生を含めて地域との共生についてどうあれば良いのか今までよりも考えるようになった。
○これから共生社会の実現に向けて、取り組んでいきたいと思う。機会を頂きありがたい。
○初めて参加し、様々な活動を行っていることを知ることが出来た。当会として協力出来るところを探していきたい。
○同窓会はあるものの卒業すれば、ほとんどつながりがなくなる。今後は、各事業所の利用者の皆さん(卒業生以外も含む)の交流に向けて組織を作れたらと思った。同好会等が出来たら、ボランティアをやっていきたいと考えている。
○日頃から地域の方々や地元企業との交流が活発に行われており、そのような活動が卒業後の就職等につながっていることを改めて感じた。生徒が卒業後、自分の希望に応じ、適正や能力を発揮できるよう行政機関として、学校の先生方や関係機関と連携して就職の実現に向けて取り組んでいく。
○今年度、民生児童委員として市社会福祉協議会/地域福祉活動計画策定委員に委嘱された。会議の席上、障がい者の立場での発言に努めるようにしている。また、近所でよく顔合わせる支援学校の生徒が5名いる。合う度に声がけしたり、話し相手になったりしている。
○学校運営協議会を通して、先生方はもちろん関係機関の皆様と意見交換が出来る良い機会だと思う。
○学校運営協議会委員を務め、授業を参観したり、いろいろな取組を教えてもらうことで、保護者との就学相談、助言に生かすことができています。
○サービス提供事業者として、様々な事業を実施しているが、今回このような形で関わることで、児童の卒業後の生活に向けた支援において、もっと貢献できるものがあるのではないかと感じた。
○皆様に御利用していただく施設に勤務している者として、障害のあるなしに関わらず利用しやすい場の提供について皆様の御意見がとても貴重なものと感じている。
○卒業後も学校と関わりをもつ事が出来る点はやって良かった。